

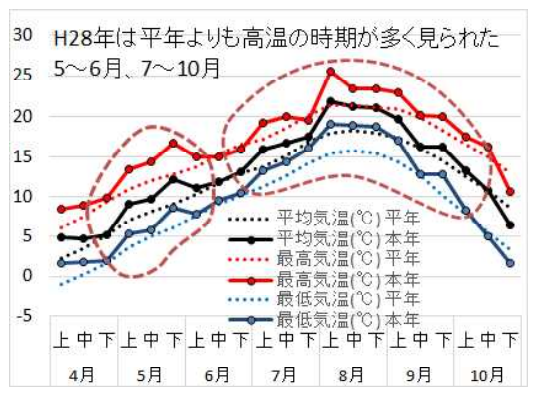
平成二八年産サイレージについて

今回は気象状況と過去のデータを振り返りながら二八年産のサイレージの品質と栄養がどのようになっているのか考えてみたいと思います。

一 気象の推移

アメダス（釧路）データによる平成二八年の気象経過です。**気温**…全体的に見ると高く推移しているが、六月に低温がみられた（図一）。

日照時間…六、九月は平年に比べて少ない（図二）。
降水量…六月中旬以降は平年



図一 気温の推移

よりも多く、八月は台風の影響も見られた。



図二 日照時間の推移

これらの気象推移により生育と収穫開始の遅れが見られ、特に台風の影響により、一部の圃場で滞水、とうもろこしの折損、葉先の枯れや倒伏がみられました。

二 サイレージ分析値

表一は二八年産と過去四力年のサイレージの平均値です（ホクレン分析）。過去四力年分の平均と比較して今年のサイレージは水分が高めで、発酵品質の指標とされるアンモニア態窒素の

表一 普及センター中西部支所管轄のサイレージ分析値（水分60%以上で集計）

	水分(%)		pH			CP(%)		TDN(%)		NDF(%)		アンモニア態窒素			デンプン(%)	
	H28	H24-27平均	H28	H24-27平均	目安	H28	H24-27平均	H28	H24-27平均	H28	H24-27平均	H28	H24-27平均	目安	H28	H24-27平均
1番草サイレージ (H28:71点、H24-27:907点)	76.6	74.1	4.2	4.4	4.2以下	11.0	13.9	59.1	58.7	66.7	62.4	9.7	14.6	8以下	-	-
2番草サイレージ (H28:31点、H24-27:386点)	77.4	76.5	4.3	4.4		14.5	10.6	59.3	57.6	61.6	68.5	10	13.6		-	-
とうもろこしサイレージ (H28:26点、H24-27:662点)	72.6	70.6	4.2	4.1		8.7	8.2	69	70.3	48.6	45.8	8.9	9.9		20.7	24.3

※中西部支所管轄は釧路市（釧路・阿寒・音別）、白糠町、鶴居村

値は平年よりも低い結果でした。

○一番サイレージ
・CPが低く、NDFが高い。
↓NDFが多いので食い込めなく、さらにCPが低いことから乳量へ影響する可能性あり。

○二番サイレージ
・CPとTDNが高く、NDFが低い。
↓成分は高めだが、天候不順による刈り遅れが見られた事から、給与しても牛の反応が良くないとの声も聞かれる。

○サイレージ用とうもろこし
・NDFが高く、デンプンの含量が低い。
↓成分が低めなことから、牛の反応（毛づや・繁殖・乳量など）がいつもより思わしくない可能性あり。

自家の状況を把握するため、粗飼料分析を行いました。とうもろこしでは台風によりカビの生じやすい状況にあったことから、見た目は良好でもカビ毒の検査を行う事も有効と考えられます。

（平成二九年一月作成）